

人間の安全保障における栄養の重要性

人間がその生命・健康を維持するためには、栄養の適切な摂取が不可欠です。人間の生命・健康の基礎である栄養の改善に取り組むことは、人々の「命・暮らし・尊厳」を守り、かつ、複雑な要因で起こる栄養不良への対応は多様な脅威に対して強靱な社会を創ることに通じ、「人間の安全保障」の実現に大きく貢献します。

人間の安全保障のアプローチの実践を通じたJICAの貢献

JICAは、人々の栄養改善に貢献できる人材育成や、多様な文化・価値のもとで健康的な選択を可能にする環境・制度づくりなどを通じて、「保護」と「エンパワメント」の組合せにより、人々が最適な栄養状態で暮らせる世界を目指します。

具体的には、「保護」の観点から、栄養改善に取り組む人材の能力強化による質の良い栄養サービス提供、栄養政策・施策の制度化と食環境整備、栄養に配慮したフードシステムの実現などを通じて、栄養改善の主流化に取り組みます。「エンパワメント」の観点から、母子だけでなく男性や若者、労働者、高齢者などすべての人々がよりよい健康を実現し、母子手帳の普及、就学前・小中学校への給食・食育の導入等、食・栄養行動を自ら選択できる力の醸成を支援します。

また、栄養改善には、食料・農業、保健、教育、水・衛生、社会保障等関連する分野がそれぞれの改善に取り組むこと、人と地球の両方の健康確保も不可欠であることから、「包括的な協働」の観点も必須です。特に人々の食生活で発生する様々な問題に分野の枠を超えた包括的な協働（マルチセクトラル・アプローチ）を重視し、より健康的で持続可能な社会の構築に貢献します。

SDGsへの貢献



SDGsゴール2 飢餓をゼロに

- 2.1 飢餓を撲滅し、脆弱な立場の人々が栄養ある食料を得られるようにする。
- 2.2 あらゆる形態の栄養不良を解消し、栄養ニーズへの対処を行う。

SDGsゴール3 「すべての人に健康と福祉を」

- 3.1 世界の妊産婦の死亡率を削減する。
- 3.2 新生児死亡率、5歳未満死亡率を削減する。
- 3.4 非感染性疾患に対する早期死亡を予防や治療を通じて減少させる。

CASE

マルチセクトラル・アプローチによる栄養改善

マダガスカルでコミュニティ人材育成と啓発活動により住民の行動変容と栄養改善を導く

マダガスカルでは、5歳未満児の約4割が发育阻害に苦しんでおり、深刻な課題となっています。JICAは国家栄養局、農業省、保健省、水衛生省が連携してコミュニティ向けの栄養介入パッケージを開発しました。これに基づきマルチセクターの栄養啓発を担うコミュニティ人材の能力強化を推進し、さらにそのコミュニティ人材が住民に啓発を実施することで、住民自らが摂取すべき食品群を意識して家庭菜園を導入したり、子どもへの離乳食の改善、手洗い習慣の促進などの栄養行動や衛生改善策をとれるようなエンパワメントを促進しました。この結果、「栄養行動を半年以上継続している」と答えた世帯は介入前後で68%から94%に増加し、2歳未満児の食事多様性の増加（22%→28%）や子供の下痢の罹患率の低減（17%→3%）など住民の栄養改善と健康に繋がっています。



栄養改善エージェント（NIA）と呼ばれるコミュニティ人材が、栄養・農業・保健・水衛生のマルチセクトラルな知識と実践を住民に指導し、住民の行動変容を促しています。